

できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信
循環・地球環境部会

特別号

発行日：令和3年(2021年)10月20日

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議 循環・地球環境部会

私のごみ削減運動！「ごみ＝エネルギーだからだ！」

—ごみは出さない！燃やさない！燃やせば温暖化！—

文：小林委員

■身近なごみ削減へ！ できる事からはじめよう！

①燃やすごみを減らそう！

・生ごみを燃やすごみに出さないで、コンポストに入れ、堆肥化する。

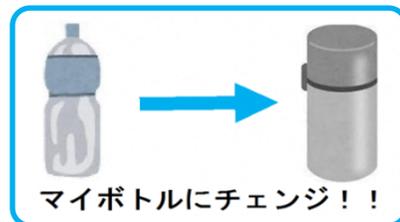
※ごみの回収にも、燃やすにも費用（エネルギー）がかかる！

②ペットボトルの使用をやめてマイボトルを持参する。

③大型封筒の宛名は、濃い鉛筆（2B）で書き、消しゴムで消して再利用する。

④お風呂の使用後の水を庭、家庭菜園に撒く。

⑤使わなくなったモノは譲り受けて使う→モノも人も継続が大事。



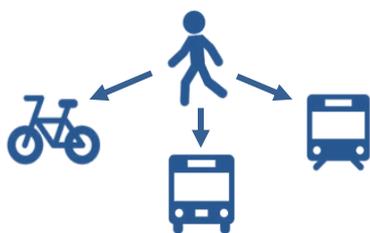
■ごみもモノもみんなエネルギーだ！ ああ！モッタイナイ！

■熱のごみを減らす！ “便利＝エネルギー” … “スポーツジム 車で行って バイク漕ぐ”

一人での移動は、自転車（電動）や、バス・電車で！

・普通自動車は、重量移動からすると象に匹敵する。動くだけで莫大な熱のごみが発生！

・山海は、ごみの山、近年は宇宙開発が進み、宇宙空間もごみだらけという！



■ごみ処理費用 180円

(家庭ごみ袋 30L あたり、京都市)

定期収集ごみ 30リットル
1袋当たりの処理費用

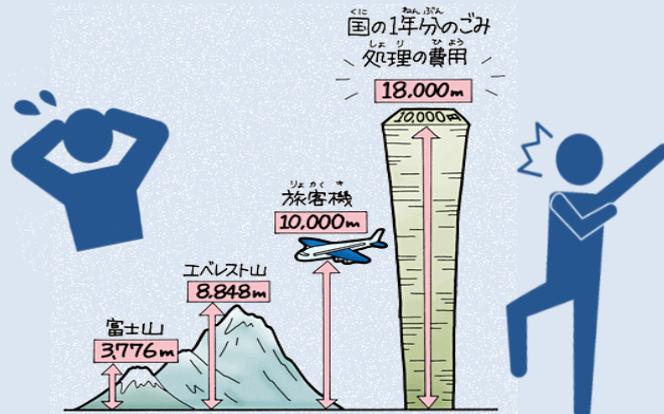


参考：平成18年京都市京のごみ減量辞典保存版より

■ごみの処理には多くの費用がかかります。2012年度の国の

1年間分の費用(国の合計)：約1兆8,000億円

→1万円札を積み上げると18,000m



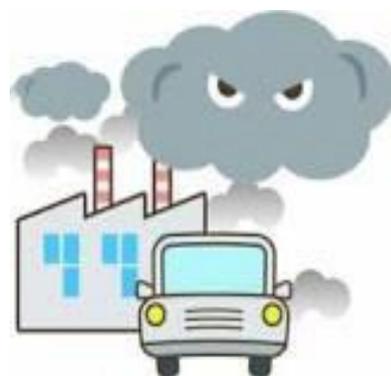
参考：(一社)産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センター「環境リサイクル学習 HP」より

※ 最新の情報については、各市HPなどでご確認ください。

- ① 1972年(49年前)、国際連合主催による180ヶ国が参加した初の「国連人間環境会議(ストックホルム会議)」が、スウェーデンのストックホルムで開催されました。「かけがえのない地球」をスローガンに掲げ「人間環境宣言」が採択されました。
- ② 1992年(29年前)、ブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議(地球サミット)」では、5つの宣言・条約が採択されました。
 - 1) 「環境と開発に関するリオ宣言」人類と自然との共生・相互依存を強調して、持続可能な開発のために環境保護が不可欠であることを宣言。
 - 2) 「環境保護行動計画 (アジェンダ 21)」先進国のODA(政府開発援助)目標、持続可能開発委員会の設置。
 - 3) 「気候変動枠組み条約」温室効果ガスの安定化・削減を目指す。
 - 4) 「生物多様性条約」生物多様性の保全と遺伝子資源の利益の公平な分配を目指す。
 - 5) 「森林に関する原則声明」森林の経営・持続的開発の達成に貢献する。
- ③ 1997年(23年前)に日本の京都府で160ヶ国が参加する「気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3、京都会議)」が開催されました。地球温暖化防止の為に国際的合意文書《京都議定書》が採択されました。1990年(31年前)を基準とする、温室効果ガス6種類削減の目標を、日本、アメリカ、EU、先進国全体で立てましたが、開発途上国(中国、インドなど)は削減の義務は無いとされました。
 - ・ 2001年(20年前)アメリカは、温室効果ガス削減は経済成長を阻害すること等を理由に離脱し、他にオーストラリアも離脱しましたが、2004年ロシアが批准して、2005年批准国55ヶ国で議定書は発効しました。
 - ・ 2009年(12年前)のデンマークのコペンハーゲンで「気候枠組条約国会議」が開催され京都議定書に代わる新たな議定書締結に向けて話し合いが行われましたが、結論が得られませんでした。
 - ・ 2010年(11年前)、メキシコのカンクンで「カンクン合意」に基づき、途上国の削減目標を定めることと同時に途上国への技術・資金捻出が先進国に義務付けられました。
- ④ 2015年(6年前)、パリにて京都議定書に代わる地球温暖化防止対策として、21世紀後半に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目標とする《パリ協定》が採択され、2016年(5年前)に発効されました。新たな枠組みであるパリ協定では、アメリカ・中国・EUを含む196ヶ国が批准、5年毎に各国は削減目標を更新する事となりました。パリ協定の概要としては、下記のとおりです。
 - ① 気温上昇を産業革命前に比べて2度未満とし、さらに1.5度以内になるよう
 - ② 21世紀後半には温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする。
 すべての国が国連に削減目標を提出し、5年毎に見直しを行う。
- ⑤ 2021年(今年)、世界に向けて日本の削減目標を菅総理が宣言しました。
 - ① 2050年(29年先)に温室効果ガス排出を「実質ゼロ」とする。
 - ② 「実質ゼロ」を達成するために短期目標として、温室効果ガスを46%削減。



生物多様性



温室効果ガスの原因



私たち(市民レベル)に出来ることは、何でしょう・・・